

天下一カブ闘会のルールについて

1. 出場昆虫について

・参加者が用意した昆虫、または五色台少年自然センターで飼育している昆虫を用いて昆虫相撲大会を行う。本大会に出場できる昆虫は参加者1名につき、1固体とする。

・大会当日に以下の項目について、基準を満たした個体のみ参加登録のうえ出場することができる。

～参加登録で確認する内容～

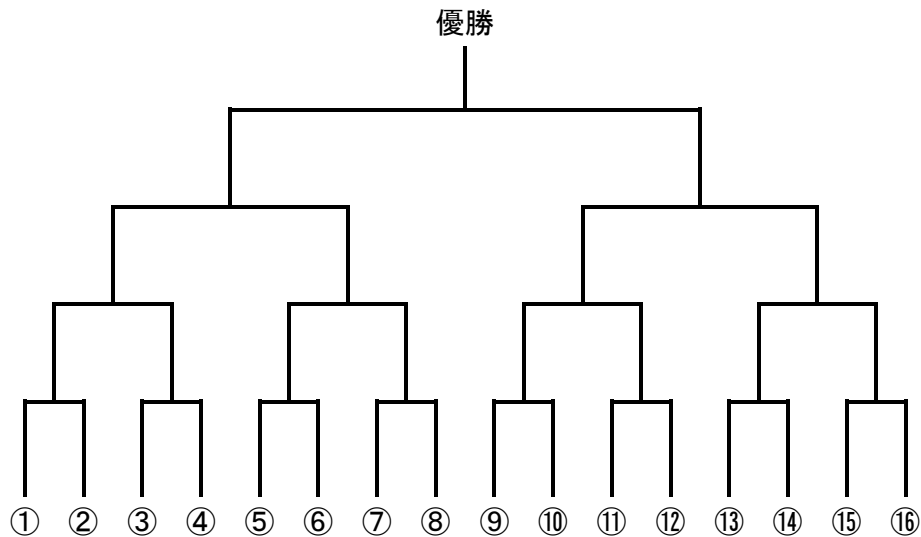
☐カブトムシ・クワガタムシであり、日本国内で野生生息している種であること

☐顎先を削っていないこと

・参加登録で基準を満たさなかった場合や、カブトムシ・クワガタムシを持っていない場合に関しては五色台少年自然センターで飼育している個体を貸し出す

2. 対戦形式について

16匹による勝ち上がりトーナメント方式を採用する。



3. 昆虫相撲について

・1試合2ポイント先取制とする。

・センターが用意した土俵の上で戦わせる。土俵の中央には昆虫ゼリーを塗っておく。

・土俵にお互いの出場固体を向かい合わせでセットする。開始の合図の後、センターが用意した筆を使って自分の昆虫を動かし、中央の昆虫ゼリーに向かって誘導する。

・参加者が筆を使って自分の昆虫を動かす際、相手の昆虫に触れないようにする。試合中は筆以外（手など）で昆虫に触れることはできない。故意に相手の昆虫に触れたり、筆以外で昆虫に触れたりしたと審判が判断した場合は反則となることもある。

・試合中は以下の項目においてポイントを取り、先に2ポイント以上とった個体の勝利とする。

☐相手を土俵外に投げ飛ばした場合・・・2ポイント

☐相手を投げ、相手の背中が土俵についた場合・・・2ポイント

☐相手を3秒以上持ち上げた場合・・・2ポイント

☐相手を押し出すなどで土俵外に追いやった場合・・・1ポイント

☐相手が自ら、土俵外に出た場合・・・1ポイント

☐相手が反則をした場合・・・1ポイント

・試合中、審判が判断した場合のみ、仕切り直しを行う。仕切り直しになった場合、参加者は自分の個体を手で触り、土俵の中央部に動かすことで試合を再開する。仕切り直しになる条件は以下のいずれかの場合である。

- ポイントに変動があったとき
- 中央の昆虫ゼリーに興味を示さず、中央に寄らないとき
- 自らひっくりかえったとき
- その他、審判が必要と判断した場合

・試合時間は5分までとする。試合開始から5分経過した時点で多くポイントを取っていた個体の勝利とする。同点の場合は、参加者どうしのじゃんけんで勝敗を決める。

・勝敗が決定したのち、両参加者が希望し、時間が余っているようであれば勝敗結果に影響しないエキシビションマッチを行うことができる。

・審判の判定に関して異議の申し立てをすることはできない。



4. 備考

・本イベントは自然や文化に親しみ、それらを大切に思う気持ちを育むことを目的として行う。生物の命を冒瀆するような行為は一切認められない。

・他の参加者が不快に感じるようなことをした参加者の方には退場してもらうことがある。

・最大16組の参加者（16個体）を定員とする。応募多数の場合は抽選を行い、落選した方の中から観覧者を抽選で選ぶ。

観覧者は大会に出場することはできないが、会場で観覧することができる。

・希望した場合のみ、五色台少年自然センターで飼育している個体を持ち帰ることができる。その場合は責任をもって飼うこと。（虫かご等は各自で用意してください）

・本大会のルールに関しては、2025年7月16日現在のものであり、これ以降、変更することもあります。
※本イベント中に昆虫に傷がついたり、命を落としたりすることがないようにセンター職員は配慮いたしますが、時にはそのようなことが起こってしまうので、ご理解のもと参加するようにしてください。